

Monthly Report

 SENDAI UNIV.

PUBLIC RELATIONS

Vol.207 / 2023 .JUL

(月1回発行)

〈 目 次 〉

・東北地区大学サッカー選手権大会 36回目の優勝／男子サッカー部	1
・今季4名のJリーグ内定選手 が誕生！！／男子サッカー部 ・街の書店リアル見学 本に触れ、読む楽しさ実感 授業『文章基礎』／スポーツ情報メディア学科	2
・令和5年度柴田町運動・スポーツ習慣化促進事業「まちジム2023」／機構事務課	3
・上海体育大学卓球サマースクールへの参加	4
・「高校スポーツの安全を守る」Vol. 63	5

東北地区大学サッカー選手権大会 36回目の優勝



「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント東北地区予選」 決勝後

6月17日～7月2日にかけて行われた「Zea1 Cup東北地区大学サッカー選手権大会 兼 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント東北地区予選」において、本学が2年連続36回目の優勝を飾りました。

【試合結果】

2回戦 vs山形大学 11-0

準々決勝 vs岩手大学 12-1

準決勝 vs東北大学 3-2

決勝 vs富士大学 4-2

決勝戦は、前年度と同様、富士大学との決勝戦となりました。山形県総合運動公園で行われたこの試合は、暑さとの闘いも含む厳しい戦いとなりました。

試合は福田拳龍(3年/体育:柏レイソルU18)の先制ゴールで始まり、佐々木翔(4年/体育:横浜FCユース)のPKで追加点を挙げ、前半を2-0とリードしました。しかし後半に入り、一瞬の隙を突かれ、対戦相手に追いつかれ2-2となり、試合は延長戦へと移りました。

延長戦では、新たに交代した選手たちの活躍で勢いを取り戻しました。特に、石尾陸登(4年/体育:JFAアカデミー)が左サイドからのクロスに、本田真斗(2年/体育:青森山田高校)が得意の左足でゴールを決めました。さらに、波田祥太(4年/体育:浦和レッズユース)も追加点を挙げ、試合は仙台大学サッカー部の勝利で幕を閉じました。

なお、この結果を受けて、2023年9月1日(金)～2023年9月10日(日)に開催される、「第47回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」への出場権を獲得しました。

学生の活躍や、取り組みなどをご存知でしたら広報課までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供して参ります。

本誌へのご意見・ご質問等がありましたら広報課までご一報ください。

仙台大学 広報課

直通 0224 - 55 - 1802

Email kouhou@sendai-u.ac.jp

13年連続！玉城大志、ザスパクサツ群馬（J2）へ加入内定！今季4名のJリーグ内定選手が誕生！！

男子サッカー部の総主将、玉城大志（体育4年）が、ザスパクサツ群馬（J2）への来季加入が内定しましたのでお知らせします。

また、男子サッカー部は13年連続でのJリーガー輩出となり、得能草生（J2水戸内定）、石尾陸登（J2仙台内定）、相馬丞（J2山形内定）に続き、今季4人目のJリーグチーム内定選手の誕生となります。

【玉城大志（タマシロ タイシ）プロフィール】

- ポジション：MF
- 生年月日：2001年4月10日（22歳）
- 身長/体重：173cm/73kg
- 出身：埼玉県
- チーム歴：
浦和レッズJrユース-浦和レッズユース-仙台大学



【本人コメント】

目標であったプロサッカー選手になれてとても嬉しいです。プロサッカー選手になれたのは家族、チームメイト、友達、コーチングスタッフをはじめとする全ての出会ってきた人のおかげです。今までやってきた事に自信を持ってプロの舞台上で活躍出来ればと思います！期待してください！ <男子サッカー部>

街の書店リアル見学 本に触れ、読む楽しさ実感 授業『文章基礎』

スポーツ情報マスメディア学科の1年生を対象とする専門基礎科目『文章基礎（演習）』（履修40人、責任教諭日下三男）は第13回授業の7月12日、実習として街の書店を訪ねました。

見学先は宮城県柴田町船岡東一丁目、「みちのく書房」＝吉田一雄さん（82）経営＝。ショッピングセンターの大型店に入る店を除けば町内で唯一の書店。通りに面するガラス窓には図書カードの広告や近日催される文化イベントのポスターが貼られ、店内はコンビニエンスストアぐらいの広さに書籍をはじめ雑誌、漫画本、DVDが並んでいました。いわゆる「街の本屋さん」といったたたずまいです。

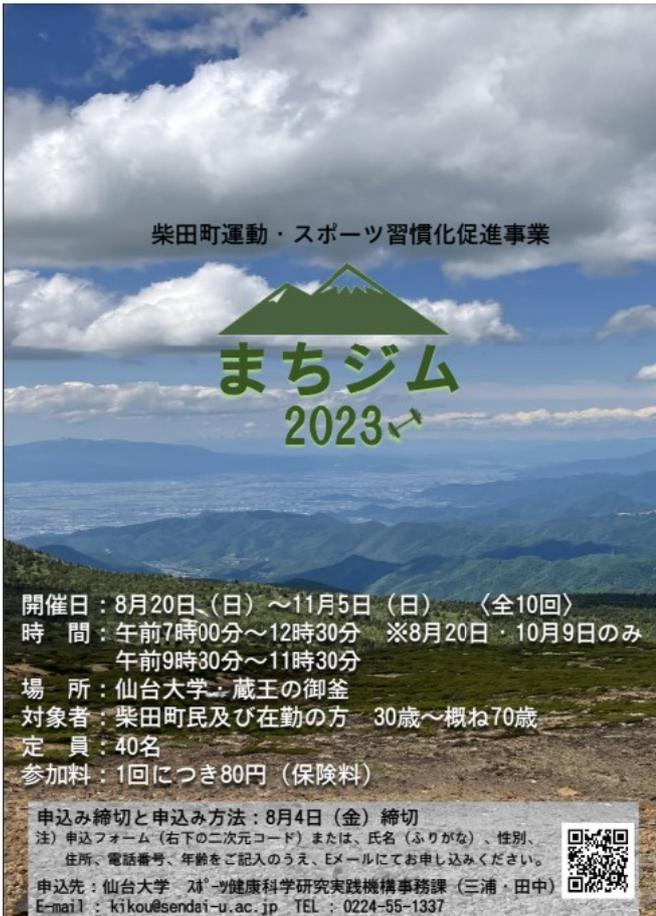
紙の匂いがふ～んと漂う中、学生たちは本に触れ、ページをめくり、読みふけり、そして書棚をカニ歩き。「おっ、面白そう」と気に入った本があり、早速購入する学生もいました。

この実習は、学生から「本はインターネットで買う」「本屋？ 行ったことがない」「立ち読みはいいの？」という声が寄せられたため企画。普段の授業では書くことだけでなく読むことの大切さも強調しているだけに、参加者は身近な所にある文化の発信基地を感じ取っていました。

この日は2班に分かれて交互に柴田町図書館も巡りました。 <スポーツ情報マスメディア学科>



令和5年度柴田町運動・スポーツ習慣化促進事業「まちジム2023」



柴田町運動・スポーツ習慣化促進事業

まちジム 2023

開催日：8月20日（日）～11月5日（日） 〈全10回〉
 時間：午前7時00分～12時30分 ※8月20日・10月9日のみ
 午前9時30分～11時30分
 場所：仙台大学・蔵王の御釜
 対象者：柴田町民及び在勤の方 30歳～概ね70歳
 定員：40名
 参加料：1回につき80円（保険料）

申込み締切と申込み方法：8月4日（金）締切
 注）申込フォーム（右下の二次元コード）または、氏名（ふりがな）、性別、住所、電話番号、年齢をご記入のうえ、Eメールにてお申し込みください。
 申込先：仙台大学 スポーツ健康科学研究実践機構事務課（三浦・田中）
 E-mail：kikou@sendai-u.ac.jp TEL：0224-55-1337




非日常的な自然のなかでトレッキング & 専門のマシンで筋力トレーニング
 ココロとカラダを整えるあなたの“まちジム”

筋力トレーニング!
 仙台大学のジムを開放！
 トップレベルのトレーナー監修の筋トレメニュー♪
 本格的なマシンで筋力アップ！& 2回目のトレッキングに備えます。

トレッキング 体組成測定
 蔵王の熊野岳を登ります！
 トレッキングコースはなだらかな道がほとんどで、運動に不慣れな方も安心です。
 また、トレッキング出発時に体組成を測り、カラダの変化を実感しましょう！

エアロビクス
 みんなで楽しくエアロビクス♪
 昨年好評のエアロビクスを今年も開催します！
 踊って笑って汗かきまくり!!

↑雨天時の対応について
 悪天候によりトレッキングがエアロビクスに変更となる場合がございますが、変わらず午前7時に大学へお集りください。

回数	日付	時間	内容	指導スタッフ
1	8月20日	7:00～12:30	トレッキング・体組成測定①	仙台大学教職員・健康運動指導士など
2	8月27日	9:30～11:30	筋力トレーニング	仙台大学フィジカルトレーナー：認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト
3	9月3日			
4	9月10日			
5	9月17日			
6	9月24日			
7	10月1日	7:00～12:30	トレッキング・体組成測定②	仙台大学教職員・健康運動指導士など
8	10月9日			
9	10月29日			
10	11月5日	9:30～11:30	エアロビクス	上級エアロビクス指導員

令和5年度の町ジムは一味違います！

『非日常的な自然のなかでトレッキング&専門のマシンで筋力トレーニング。ココロのカラダを整えるあなたの“まちジム2023”』、初回に蔵王の熊野岳でトレッキングをし、後半のトレッキングに向けてトレーニングを行います。トレーニングは仙台大学のジムを限定開放！柴田町民&在住の方を対象に、スポーツの習慣化を目指します。 <機構事務課>

上海体育大学卓球サマースクールへの参加

2023年6月20日～7月20日、仙台大学の国際交流協定校である中国上海体育大学において、卓球競技のサマースクールが行われました。4年ぶりの4回目で同大学の国際交流および卓球学院からの招待を受け、本学から高橋仁学長、馬佳濛教授の引率で卓球部所属の体育学科3年の田代一稀さんと2年生の平野楽さんの2名を派遣しました。



本プログラムは、中国国技の卓球を通して、国際交流を発展させることを目的に、上海市当局の支援の下で卓球学院と海外の提携校や卓球協会に対して、招待により実施されています。

プログラムの内容について、他の国からの参加者および現地学生との卓球練習をメインとし、中国語、中国茶道、粽づくりなどの多彩な文化体験により構成されています。



プログラムの実施言語は基本中国語と英語でありましたが、現地の日本語が堪能の職員から支援を受けながらも、本人たちの積極性と真面目さで、数ヶ国からの参加者と意欲的にコミュニケーションをとり、プログラムの参加や日常生活に支障が出ないほど交流内容をこなしていました。現地入りから引率しましたが、3日程度で現地の生活に慣れていた様子を窺うことができました。卓球学院の監督からは、「2名の学生は、卓球練習も授業参加もとても真面目な姿勢で取り組んでいるので上達が早い。」と高評価を頂きました。短い期間ではありましたが、2名の学生が中国卓球の精神と技能に触れる機会となり、卓球に対する理解をより深めることにより、今後の成長に繋がるものとなりました。



滞在中に高橋学長が今年着任された上海体育大学毛麗絹学長と面会しました。毛学長が我々の訪問を大いに歓迎し、両大学のこれまでの友好関係に尽力してきたことに感謝の意を述べました。今後は、卓球や体操競技のジュニアスクールを有していることから、そのジュニアメンバーの進学先として、仙台大学と附属高校である明成高校への入学の可能性についても議論され、両大学間の交流をさらに拡大していきたいということで認識を共有しました。

<報告者 馬佳濛>

「高校スポーツの安全を守る」 Vol.63

川平ATルームでは、アスレティックトレーナーとS&Cコーチによる特定指定研究部活動に対する日々のトレーニング指導やケガの対応を行っているのですが、それらの活動以外にも仙台大学附属明成高校のスポーツ創志科の授業も担当しております。主に我々の専門分野でありますスポーツに関わるケガや熱中症について授業や、トレーニングに関する内容の授業を担当していて、先日はスポーツ創志科3年生に対するスポーツによる四肢の外傷・障害というテーマで授業を行いました。

スポーツ創志科では1年生からスポーツ傷害についての授業を履修しているのですが、今回の授業では基本的なスポーツ傷害の知識の復習に加えて、統計や解剖学の知識も織り交ぜながら、1・2年生の時より少し詳しい内容で行いました。

今年度からは新しく完成しました川平KMCHもスポーツ創志科の授業で利用している関係で、7月8日に行われました仙台大学附属明成高校のオープンスクールでも、先生方と一緒に川平KMCHの各施設や機器の説明を中学生とその保護者に対して行いました。あまり高校の授業では使わないような機器もスポーツ創志科の授業では取り入れているので、川平KMCHの施設や機器を紹介することで、明成高校のアピールと共に仙台大学のアピールにも繋がったのではないかと思います。

<高野 順平 助手>



～仙台大学教職員の共通理解事項～

仙台大学の「建学の精神」、「基本理念」、「使命・目的」

建学の精神

「実学と創意工夫」

仙台大学の経営母体である学校法人朴沢学園(明治12年開設)の学園創始者は、建学の精神として「実学と創意工夫」を掲げ、「創意工夫と先見性をもって実学を志し、実学に根ざした人格形成と人材育成を図る」ことをもって先進的な女子教育を行い、寺子屋方式に代え一斉教授法を導入し明治時代の裁縫教育に一大革新をもたらした。

その考え方は、体育系単科大学として昭和42年に開学した本学にも受け継がれ、人格形成の要素である体育・徳育・知育のうち「体育」に教育・研究の重点を置きつつ、実学と創意工夫に根差した広い教育研究領域を探求することに継承されてきた。なお、建学の精神の意図するところについては、開学時の第1回入学式・初代学長告辞にも「社会で充分活動できるための智識と技能を鍛えた心身ともに健康である人間をつくることであり、仙台大学は、企業等における健康管理・健康指導の企画・実施担当者の育成、各種の運動機構等における実技指導者、ならびに学校体育の指導者を養成することを目的としております」と端的かつ明確に示されている。

基本理念

「スポーツ・フォア・オール」

仙台大学は、昭和42年、単一学部・単一学科で開学した。その後、平成7年度以降、順次学科を増設し、現在では6学科構成としている。また、学科増設に加え平成10年度には大学院スポーツ科学研究科(修士課程)も新設している。こうした教育研究領域の拡大に伴い建学の精神を基盤に据えつつ、大学の新たな基本理念として定めたのが「スポーツ・フォア・オール」である。

「スポーツ・フォア・オール」とは文字通り「スポーツは健康な人のためだけでなく、すべての人に」を、すなわち「乳幼児から元気なお年寄りはもちろん、寝たきりのお年寄りまで。そして、性別や障がいの有無を問わず、トップアスリート、生活の中での楽しみや健康の励みとしてスポーツをする人、スポーツをみる人が好きな人、スポーツをささえる人などすべての人を対象としてスポーツを科学的に探究すること」を意味している。

使命・目的

基本理念を踏まえた仙台大学の使命・目的は、仙台大学学則第2条および仙台大学大学院学則第2条にそれぞれ示している。

■仙台大学学則 第2条

本学は、体育・スポーツ、健康福祉、スポーツ栄養、スポーツ情報マスメディア、現代武道及び子ども運動教育に関する諸科学を教授研究し、当該分野における指導者としての専門的知識と技能を体得させるとともに、高い識見と広い視野とをもって、社会の指導的な役割を果し得る有能な人材を育成することを目的とする。

■仙台大学大学院学則 第2条

本大学院は、広い視野に立って、体育・スポーツ、健康福祉、スポーツ栄養、スポーツ情報マスメディア、現代武道及び子ども運動教育に関する学術の理論と応用を教授研究し、当該分野における高度の専門的な職業等を担うための卓越した能力を培い、もって体育・スポーツ及び健康分野の発展に寄与する有為な人材を育成することにより、広く社会に貢献することを教育研究上の目的とする。

その他 (リンクを貼っていますので、項目をクリックして閲覧ください)

■人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的(仙台大学学則別表第一)

■3つのポリシー ①学部 ②大学院

③体育学科 ④健康福祉学科 ⑤スポーツ栄養学科

⑥スポーツ情報マスメディア学科 ⑦現代武道学科 ⑧子ども運動教育学科

■朴沢学園中期経営計画

■事業計画